

## 令和 8 年度議会報告会報告書

開催日時： 令和 8 年 7 月 26 日（日）14：00～16：00

開催場所： 長与町ふれあいセンター

出席議員： 下町純子・堀真・岡田義晴・八木亮三・松林敏・西田健・浦川圭一・安部都・金子恵・山口憲一郎・堤理志・竹中悟・西岡克之（副議長）・安藤克彦（議長）

参加人数： 20 人

### ①全体質疑

| 質 問 ・ 意 見 |                                                     |
|-----------|-----------------------------------------------------|
| Q         | 来年選挙があるのに、議会だよりにより議員の紹介を載せるのは、如何なものか。               |
| A.        | 住民から『議員の人柄や思いなどを聞く機会がない』との意見を踏まえ、今回掲載した。            |
| Q         | 高田学園には議員は、視察を行っているのか。感想を聞きたい。                       |
| A.        | 議員として行っていない。                                        |
| Q.        | 視察の報告はしているのか。                                       |
| A.        | 議会だよりにより毎回掲載している。その他ホームページにも掲載を行っている。               |
| Q.        | 堂崎遺跡などが荒れ放題だ。何とかならないか。                              |
| A.        | 教育委員会（生涯学習課）も遺跡マップを新しく出すなど意識が変わってきているようだ。今後考えていきたい。 |
| Q.        | 人口減少しているが、町を活性化させるために交流人口を増やす工夫はないか。全天候型の施設は作れないか。  |
| A.        | 以前一般質問を行ったこともあるが、そこで協議が止まっている。今後問題提起ができればと考えている。    |

### ②2 つのテーマに分かれての意見交換会

テーマ（1） 福祉のまちづくり （総務厚生常任委員会）

| 質 問 ・ 意 見 |                                                                                                                            |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Q.        | 新図書館への移動手段として、バスなど有料でもいいので各地区を回ってもらうことはできないか。                                                                              |
| A.        | 嬉里中央地区で実験的に行うこととなっている。その成功例が見えてきたら各地区の皆さまにも広めていきたい。                                                                        |
| Q.        | 嬉里中央地区で実施予定のモデル事業は、自治会が運営するのか、運転手はだれがするのか。役場が車両を 1 台貸与するなら、保険や経費はどのようになるのか。デマンド交通やライドシェアなどのやり方を整理して、地区ごとに適切なやり方でやっていただきたい。 |
| A.        | モビリティ人材育成事業の 1 つとして嬉里中央地区の取り組みを行う。保険や車のことなど事故がないように考え実施に入っていくとのことなので、継続して質疑をしていきたい。                                        |
| Q.        | 視察で調査した公共交通の取り組みを、本町ではどのように生かしていくのか。                                                                                       |
| A.        | 財政規模が違うため本町ですぐに取り組めるというものではなかったが、地域の特性に合わせた交通体系をつくっていくというのは重要であるため、提言書の中で表現できればと考えている。                                     |
| Q.        | 本町は高齢者交通費・健康づくり助成事業として 2,500 円分補助しているが、時津町は 9,000 円                                                                        |

となっている。その差は何か。

- A. アンケートの中でも本助成についての声が多かったので、委員会として調査を行っていきたい。
- Q. 福祉バスを廃止後の貸切バス補助制度は、自己負担（自治会・団体）が大きく利用しづらい。以前の福祉バスに近い制度へ見直す考えはないか。より利用しやすい支援制度を検討できないか。
- A. 貸切バス補助制度は、利用実績や利用者の意見を踏まえ検証していく。必要に応じ制度改善を提言していく。
- A. 制度が十分機能しているか検証し、課題を整理した上で改善に向けた調査・研究を進めていく。
- Q. 障がいのある子どもや大人が安心して過ごせる居場所や受け皿を充実できないか。
- A. 障がい者福祉は重要な調査テーマだ。利用者や家族の意見を踏まえ調査・研究を進める。
- Q. 老人福祉センターなど公共施設を高齢者や障がい者が利用しやすい施設へ改善できないか。
- A. 利用者や専門家の意見を取り入れた施設整備が重要であり、今後の調査・提言に生かしていく。
- Q. 高齢者や障がい者への職員の接遇や配慮を更に充実できないか。
- A. 施設整備だけでなく、利用者に寄り添った対応も重要であり、関係機関と共有して改善に繋げていく。
- Q. 老人福祉センターの運営に利用者の意見を反映できないか。
- A. 社会福祉協議会へ利用者の意見を伝え、今後の委員会活動にも反映していく。

**テーマ (2) 「教育のまち」長与に思うこと** （産業文教常任委員会）

質 問 ・ 意 見

- Q. 高田学園さくら野校舎からセブンイレブンへ下る道に横断歩道がない。地域安全課は、警察に早急に連絡すると聞いているが、議会・議員も一緒に動くと早く対応できるのではないか。
- A. 町が警察と協議する仕組みがあるので、議会・議員が町と一緒にになって個別な案件について警察に要望することは控えた方がいいと考える。
- Q. 議会・議員には、住民の意見を尊重してもらい、一個人の声を取り上げて欲しい。
- A. 地域の困りごとについては、自治会長に一定の権限が与えられている。近くの議員に相談する方法もある。
- Q. 長与中の老朽化がひどく、雨漏りしている。学校の修繕は早急にやるべきだ。
- A. 公共施設管理計画がある。教育施設を優先して欲しいとの要望として受け止めたい。
- Q. 道路のバリアフリー化が進んでいない。
- A. 徐々に修繕されているが、まだまだ不十分だ。今後も修繕に向けて進展していくよう注視したい。
- A. LINE 公式ミックンに登録すると、道路の陥没や街灯の不具合を通報できるので、利用してはどうか。

その他の意見

- ・ 総合の学習で長与町について学ぶが、イベントとか調べたり、まとめたり、発表したりする場があれば良いと思う。（小学生の意見）
- ・ スポーツクラブが増加して、スポーツ至上主義になっていないか。文化部が少ない。理科クラブなどの設立はできないか。
- ・ 高田学園の設立の準備は十分であったのか。
- ・ 子ども、住民の望むことや、住民の声を聞いているのか。タブレット学習や SNS の弊害はどうか。夏休みの短縮などの住民の声は聞いているのか。
- ・ 8 月 9 日、小中学校の平和の取り組みはどうか。被爆者の声を聞くとか、写真展示などはあるのか。